

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	柔道整復医学演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	林 了大	実務経験とその関連資格	接骨院の院長(柔道整復師)として、1999年～2014年勤務経験あり。 公益法人兵庫県柔道整復師会 阪神南支部の役員を2008年～2014年まで務めた。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1.2年生で履修した内容で復習が基本となりますが、事前に復習するなどの準備が必要です。試験に合格できるように、計画通りに準備を進めましょう。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>期末試験評価:100%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 適宜関連資料の配布を実施</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>実施問題範囲を事前に予告してから実施するので各自予習をして授業に臨むこと。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>国家試験合格がゴールではありませんが、重要な通過地点の1つとなります。 復習も大切ですが、受験生としての事前準備がこの講義では必要です。 自覚を持って計画的に準備するようにして下さい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	現状把握を行うとともに、講義コマごとの進行を把握し、次回以降の準備をスケジュール立てる。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	2回目からの授業内を伝えるため、今後は準備学習が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 講義および確認問題の進め方			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復に関連する解剖学を理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	確認問題① 問題の実施と解答			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復に関連する解剖学を理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	確認問題② 問題の実施と解答			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復に関連する解剖学を理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	確認問題③ 問題の実施と解答			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復に関連する解剖学を理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	確認問題④ 問題の実施と解答			

授業の方法				使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復に関連する生理学を理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	確認問題⑤ 問題の実施と解答		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復に関連する生理学を理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	確認問題⑥ 問題の実施と解答		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復に関連する生理学を理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	確認問題⑦ 問題の実施と解答		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論を復習し、理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	確認問題⑧ 問題の実施と解答		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論を復習し、理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	確認問題⑨ 問題の実施と解答		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論を復習し、理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	確認問題⑩ 問題の実施と解答		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論を復習し、理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	確認問題⑪ 問題の実施と解答		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論を復習し、理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	確認問題⑫ 問題の実施と解答		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	柔道整復理論を復習し、理解する。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	確認問題⑬ 問題の実施と解答		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	履修内容の総合確認を行ない、国家試験同等問題が解けるようになる。	解剖学・生理学・柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集)	各実施内容に応じたテキストならびに資料の確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	①～⑬までの確認		